

平成2年12月

## 長門町

## 別荘だより

## 学者村祭・美し松祭 盛大

平成2年12月  
第1号  
長門町業課開

学者村 八月四日 第一土曜日

美し松 八月十一日 第二土曜日にそれぞれ行われました。

祭りと言えば、大人も子供も関係有りません。全員が、参加してわいわい騒いで祭をおもしろおかしくして盛り上げるのです。

学者村では、今年も、富士見保育園の皆さんのがバスで来て始まる前に余興で、やぐらの回りで、曲に合わせ踊りを披露してくれ周りを盛り上げてくれた。

その他、好例のすいか割り大会・もちつき・かき氷りなどがあり盛り上りました。

美し松では、皆さんから頂いた豪華な景品がもらえる好例ジャンケン大会があり手に汗を握るジャンケン勝負が行われた。

又、山の子学園の皆さんのが焼きもろこし・焼きそば等の屋台やバザーなど出店して大変人気でした。

別荘に来てのお祭りは、

普段住んでいる場所での

祭りとは、一味違った感じがしてなかなか良い物だと思いますが、いかがだったでしょうか。



## 特集

## ハチの大発生

今年はカラシユの影響か全国的にスズメバチ(通称クマンバチ)が大発生をし巣が別荘地内にも

例年に比べ多く見られました。

管理職員はじめ必死にハチ退治をまいりましたが、縁の下戸袋の中、外壁の中等に巣があるものは退治が難しく翌年巣穴となる様な箇所は目板をするなどしておくと安心です。

ハチの巣づくりは5月中旬から始まり8月頃には最盛期になります。この間別荘が留守がちだとハチの巣は大きく成長して居り二階のヒサシの裏等、比較的高い所にあるものはそつとしていれば危害はありませんが玄関先の階段の下、カベの中、戸袋の中等一見して判らない所にあるものは、足音又は振動等に反応し攻撃をしてきます。

この様な事にならない様しばらく別荘に来られなかつた場合は玄関先、戸袋の雨戸を開ける際は、特に注意をする様心がけたいものです。

又、もし御心配の方は、別荘に来られる際管理事務所へ連絡され情況等を事前にチェックされると良いでしょう。

ここでスズメバチの成態・活動範囲と予防をまとめ今後の参考となれば幸いです。

◎ 活動 五月中旬 十一月中旬頃まで、五月中旬頃から巣づくりし十一月中旬頃まで活動し特に十月頃より成長した雄バチが巣ばなれをし互いに繩張り争いをする。

## ◎ 畠木づくり箇所等

主にはヒサシの裏に作る。

この他、外壁の節穴から入り板壁の中、戸袋の中床下等まれに木の枝、ヤブ下等にも作る。

形状は楕円形で黄白色や褐色の波条の模様があり大きさは

紙面を持ってお札をさせて頂きます。誠に有難うございました。

追伸 学者村・美し松祭に御寄付をして頂いた方々に、

おわび

10号はハチの特集版にしましたので長門自然探訪と四季の山菜を搭載致しませんでした事をお詫び申し上げます。



## ハチにさされたら



## 予防と応急手当

巣が遠目に発見できる箇所であれば危険はない。

床下、カベの中で発見しにくい箇所で知らずに足音又は振動を与えた時に攻撃してくるので注意をしたい。

は振動を与えた時に攻撃してくるので注意をしたい。